

杏林大学研究業績集発行に寄せて

杏林大学は、研究力強化及び研究活動の活性化目指し、令和2年度においても、令和元年度に引き続き共同研究施設部門に新たな機器を導入する等、研究環境の整備に取り組みました。

また、「知的財産ポリシー」の基づき学内の知的財産の活用をすることを目指し、産学官連携の推進にも注力しています。

大学の研究活動の成果を社会に向けて広く発信していくことは、大学の重要な使命のひとつであり、本学では研究の成果を取り纏めたものを、平成22年度より研究業績集として発行しています。

令和2)年度の研究活動の成果を研究業績集として取り纏め公表することで、学術研究活動が発展し、産学官連携のシーズ発掘に繋がることを期待しています。

全学的な連携を推進するためにも、この研究業績集をご活用頂けることを望んでおります。

令和4年3月

学 長

大 瀧 純 一

令和2年度研究業績集発行にあたり

令和2年度の研究業績集が無事発行できましたこと、皆さまに深く御礼申し上げます。

令和元年度に続き2年度にも新型コロナウイルス感染症の影響が続いたことは、全く予測できませんでした。

このため、研究を行う上でも、学会に参加する上でも、皆様には多くの制約があったことと推察いたします。

その中でも続けられた皆様の努力の成果が、この研究業績集です。

研究業績集は外部に対し杏林大学の研究成果をアピールすると同時に、杏林大学の方に他の研究者の情報をお知らせする目的も持っています。

この業績集を活用していただき、研究推進センターの使命の一つである、全学的な連携を更に推進していただきたいと思います。

皆様の個々の努力を結びつけて杏林大学発の研究が発展できるよう、研究推進センターでもサポート体制を強化してまいります。

引き続き、皆さま方のご指導ご助言を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和4年3月

研究推進センター長

大木 紫

目 次

1	講 演 (学会・研究会，国際学会，地域の講演会，ポスターセッション，一般向け公開講座等)	医学部 1		講演・論文・著書・特許等知产的財産関係・報告書・その他	医学部 保健学部 総合政策学部 外国語学部
	論 文 (原著，総説，依頼総説，症例報告等，専門学術誌に掲載された学術著作等)	保健学部 134			
	著 書 (分担執筆，監修，翻訳，電子メディアを含む)	総合政策学部 167			
	報告書 (官公庁，公的機関等)	総合政策学部 167			
	その他 (新聞掲載，メディア出演，受賞，学会主催，巻頭言，対談，オピニオン，特許等)	外国語学部 170			
2	共同研究	175		共同研究	
3	研究費採択一覧	260		採択研究一覧費	
4	学会等の研究活動に対する表彰者一覧	276		学会等の研究活動に対する表彰者一覧	
5	学位論文要旨および審査要旨 医学研究科 保健学研究科 国際協力研究科	278		学位論文要旨および審査要旨	